

各 位

会社名 荒川化学工業株式会社
 本社所在地 大阪市中央区平野町1丁目3番7号
 代表者名 取締役社長 宇根 高司
 (コード番号 4968 東証第一部)
 問合せ先 取締役経営企画室長 高木 信之
 T E L (06) 6209-8500 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月1日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2022年3月期通期業績予想の修正

(2021年4月1日～2022年3月31日)

(金額の単位：百万円)

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|---------------------------|--------|---------|---------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 80,000 | 2,600 | 2,600 | 1,750 | 88円21銭 |
| 今回修正予想 (B) | 80,000 | 3,300 | 3,400 | 1,750 | 88円21銭 |
| 増減額 (B-A) | 0 | 700 | 800 | 0 | — |
| 増減率 (%) | 0.0 | 26.9 | 30.8 | 0.0 | — |
| (ご参考)前期通期実績 (2021年3月期) | 70,572 | 3,257 | 3,652 | 2,169 | 109円35銭 |

2. 修正の理由

当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、大きく落ち込んだ前年度からの回復や高付加価値製品の拡販などにより堅調に推移しましたが、ロジンや石化原料などの原材料価格の高騰等により収益性は悪化しております。第4四半期連結累計期間の業績についても、需要面では堅調に推移するものと見込んでおりますが、天然ガスなどの資源価格高騰の影響やサプライチェーンの混乱は長期化する見通しです。

このような環境のもと、通期業績予想につきましては、収益性の悪化が見込まれるものの、千葉アルコン製造株式会社における水素化石油樹脂製造設備の本格稼働が2022年4月以降へ遅延することにより償却費などが計上されない見込みとなったことから、営業利益、経常利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。なお、非支配株主に帰属する当期純利益の増加などが見込まれることから、親会社株主に帰属する当期純利益については変更ございません。

(注) 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上